

帝京大学教職大学院

「学校生活と子どもの健康・病気」 / 「救命救急実習」

帝京大学大学院教職研究科ではカリキュラムの特徴の一つに「教育と医療の連携」を掲げています。その一環として、「学校生活と子どもの健康・病気」という共通基礎科目を大学独自に設定して、小児科専門医であり大学院専任の教員と実務家教員がオリジナルテキストを使用してティーム・ティーチングで授業を行っています。



扱われるテーマ:

学校医の役割・医療体制、子どもの成

長と発達、感染症、アレルギー疾患、心身症・神経障害、発達障害、てんかん、低身長・肥満・やせ、頭痛・起立性低血圧、熱中症、救命救急、睡眠と睡眠障害、メディアと健康、スポーツと健康など

救命救急実習

共通基礎科目「学校生活と子どもの健康・病気」の実習として、医学部附属病院の協力のもと、救命救急実習を行っています。

講師: 医学部救急医学講座教員、医学部附属病院看護部看護師ほか

場所: 帝京大学シミュレーション教育研究センター(板橋キャンパス)

内容: 最新機器を用いた最新の救命救急技能の習得と、教育現場における救命救急場面をシミュレーションしたディスカッション

修了証明書取得(医学部附属病院病院長発行)

